

# 中高生ボランティア体験講座参加者募集

## ①手話で話そう

- 日時** 8月17日(火)9時~17時  
**集合場所** 市総合福祉センター(長門石1丁目1番34号)  
**会場** 久留米聴覚特別支援学校(高良内町2935)  
**内容** 聴覚に障害のある子どもたちとの交流を通して、耳が聞こえにくいということや簡単な手話について学びます。

## ②屋外研修

- 日時** 8月18日(水)8時30分~17時  
**集合場所** 市総合福祉センター(長門石1丁目1番34号)  
**内容** 聴覚に障害のある子どもたちと一緒に屋外研修に出かけます。

※新型コロナウイルス感染症の感染予防策を講じたうえで行います。  
 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、行事の延期や中止、実施内容の変更を行う場合があります。  
 ※申込みに関しては、下記問い合わせ先をお願いいたします。

## 対象

- 市内に居住または市内の学校に通っている中学生、高校生
- 両日とも参加できる人
- 講座後、難病者・障害者のイベント支援や街頭募金等のボランティア活動に参加することが可能な人

**定員** 15名(応募多数の場合は抽選)

**参加費** 無料(昼食は主催者で準備します)

**締切** 7月30日(金)17時まで

**主催** 市社会福祉協議会  
ボランティアセンター

# コロナ禍でもできることを

## 食糧支援活動へのご協力をお願いします

新型コロナウイルス感染症の影響により「働かなくても働けない」、「出勤日数の削減で収入が減少」などの理由で、生活に困っている人たちが市内でも増えています。こうしたなか、食糧支援や子ども食堂などを行っているボランティア団体の活動が注目されています。

市社会福祉協議会は、3月に赤い羽根共同募金を活用し、食糧支援団体や学生に向けて食糧を提供しました。しかし、定期的に食糧支援を行っている団体にとっては、継続的な支援が必要で、特に夏休みは、子どもが家で過ごす時間とともに必要な食糧も増えます。

食糧支援団体や子ども食堂へ、お米や常温保存できる食糧のご寄付にご協力いただける人は、市社会福祉協議会ボランティアセンターにご相談ください。よろしく願いいたします。



## オンラインを活用した福祉教育

市社会福祉協議会は、福祉教育の一環として、小中学生向けに視覚障害、聴覚障害、身体障害などのゲストティーチャーから、「自身の経験」や「どのようなことを手伝ってほしいのか」など、お話をさせていただいています。

これまでは、学校に出向いていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で行くことが難しく、オンラインを活用した授業を試験的に行いました。

画面越しでの授業でしたが、ゲストティーチャーが伝えたかった思いは子どもたちに伝わっており、そのメッセージは、子どもたちの心に、新たな気づきを与えてくれたようでした。

市社会福祉協議会では、福祉教育推進のため、ゲストティーチャーと学校のコーディネートを



長門石小学校の生徒に画面越しに授業を行なっている様子

## 問い合わせ

市社会福祉協議会ボランティアセンター  
 TEL0942・34・3035 FAX0942・34・3090 メール [heartful@heartful-volunteer.net](mailto:heartful@heartful-volunteer.net)